

令和5年度 第3回学校運営協議会 定時制部会 要旨

日時 令和6年2月9日（金）18時～ 於：大会議室

学校運営協議会委員（順不同 敬称略）

富田 昇（東大阪大学短期大学部 教授）
味岡 知行（味岡刃物製作所 代表 伝統工芸士）
奥野 浩史（奥野晴明堂 代表取締役社長 伝統工芸士）
丸井 理恵（堺市立旭中学校 校長）
山本 達也（人権擁護士）
上田 則子（保護者 代表）

1 准校長挨拶（平野准校長）

2 令和5年度学校評価について（審議事項）（平野准校長）

各項目の取組みについて、しっかりと取り組めた。昨年12月にアンケート形式で実施した学校教育自己診断においても、生徒、保護者、教員から高い評価を受けており、数値にも表れている。

3 令和6年度学校経営計画について（審議事項）（平野准校長）

今年度の教育活動がよい形で進んでいるので、来年度も引き続き活動が持続発展できるよう取り組みたい。

「めざす学校像」については、これまでと同様に、「ものづくり」を核に「働きながら学ぶ」ことを大切にして、生徒の自己実現や進路実現に向けて取り組みたい。併せて、個に応じた支援・指導により、能力や適性に応じた教育活動を行っていききたい。さらに、地域とも連携して、生徒の学校生活を充実させていきたい。

「中期的目標」についても、「めざす学校像」をベースにこれまでの良い流れを引き継いで、継続的に取り組んでいきたい。

⇒ 令和5年度学校評価及び令和6年度学校経営計画について、承認。

4 本校の近況について（各分掌長より）

① 教務部（古川教諭）

○ 令和5年度の在籍状況（令和6年2月1日現在）について報告。

1年生 37名（うち女子2名） 2年生 24名（うち女子3名）

3年生 20名（うち女子4名） 4年生 2名（うち女子0名） 合計 83名（うち女子9名）

○ 転退学者数が少なくなっており、在籍生徒は学校への定着率が高く、出席率も高い。

○ 令和6年度選抜に向けた中学生の動向等について説明。

②生活指導部（上坂教頭）

○ 全体として、楽しんで学校生活を送り、落ち着いた状態で教育活動に取り組んでいる。

○ 給食の喫食状況等について報告。1月26日現在で生徒36名、教員18名が喫食。喫食率は約43.4%。来年度も給食費無償化が継続予定。

- 生徒指導部による行事について報告。

7月19日 交通安全講習 10月6日 SNS講習 11月22日 防災体験

- 自動二輪（原付含む）、自動四輪の通学について説明。

③進路指導部（保田教諭）

- 生徒の就職、進学結果について報告。就職において、全員内定を獲得。進学において、現在1名が共通テストを受験済み。全体として、100%の進路実現ができています。

④生徒会活動部（上坂教頭）

- 生徒会活動に関する年間行事について報告。
- 部活動（14部が現在活動中）について説明。

⑤支援教育委員会（古池首席）

- 生徒支援サポート体制について説明。（SC、SSW、居場所事業、教育相談生、学習支援員、支援スタッフ等。）
- 教員人権（同和）研修、生徒人権HR（いのちの授業、「めぐみ」の視聴等）について説明。
- いじめアンケートの実施について。
- 中学校との合同懇談会について説明。

⑥その他（保田教諭）

- 表彰状を紹介した。（東京工科大学での生徒発表、全国ユース環境尾活動発表大会での生徒発表、脱炭素チャレンジカップ、堺 SDG s 川柳 2023、文部科学大臣賞等）
- 被災地へ生徒と行ったボランティア活動について、堺市から感謝状を授与された。
- 地域連携活動として、堺警察・堺ライオンズクラブと連携して啓発活動を行った。
- 女川町の支援学校と連携した線香づくり、手ぬぐいでの学校案内資料について説明。

（委員の方からのご意見）

- 学校評価において、多岐の項目にわたって自己診断をされており、生徒・教師・保護者から肯定的な評価を受けていると感じています。次年度以降も同じように取り組んでいただき、さらに高みをめざしていただければと思います。
- ICT教育について、一人一台端末を用いた授業を展開され、生徒の興味・関心を引く授業を行っていただいているので、引き続き継続して欲しいです。
- 自己肯定感を高め、子どもたちが授業や学校生活を通して、やりがいや生きがいを見つけられる楽しい学校になっていると感じます。今後も、ますますその道を極めて欲しいです。
- 今年も先生方にご尽力いただき、様々な取組みをされ、多くのところから注目されたと思います。来年度以降もこれまでの成果を踏まえ、さらに新たな取組みに挑戦し、より注目される学校になってもらえればと思います。

以上